

# くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2018. 10. 18 NO. 234

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319

## 区議会 決算特別委員会

# 就学援助の入学準備金 増額方針示す

10月10日の区議会決算特別委員会で、就学援助の拡充について質問しました。

### 就学援助の認定基準 生活保護引き下げに連動させるな

10月からの生活保護基準の引き下げに連動して、低所得世帯に小学校や中学校の学用品費や給食費、修学旅行費を補助する「就学援助」の認定基準が引き下げられるのではないかと懸念されています。

質疑では、文科省が、各都道府県教育委員会教育長あてに出した通知のなかで、自治体に対し、生活保護基準引き下げによる影響が就学援助制度に及ばないよう対応を求めていることを紹介。区教育委員会としても、この通知にそって、認定基準の引き下げは行うべきでないとうめました。区教委は、他区の状況もみながら検討すると答弁しました。



### 23区の中で低い入学準備金 ようやく増額の方角へ

杉並区の準用保護世帯への入学準備金は、現在小学校が2万700円、中学校が2万2900円で、近隣の区と比べても低額です。これまでも、増額を求めてきましたが、区教委は「他区と比べて遜色ない」と答弁してきませんでした。

準要保護世帯に対する入学準備金額

	小学校	中学校
杉並区	20,700円	22,900円
中野区	40,600円	47,400円
世田谷区	40,600円	47,400円
渋谷区	47,380円	54,070円

質疑では、準要保護認定児童に対する平成30年度の都区財政調整の単価について、小学校入学児童が2万3890円から4万7380円に、中学校入学生徒が2万6860円から5万4070円に改定されたことを受け、杉並区の対応について問いました。区教委は、来年度から、生活保護基準単価を上限に、改定された財調単価にそって増額する方向を示しました。

党区議団が粘り強く求めてきた入学準備金の前倒し支給に続き、増額の方角が示されたことは重要な前進です。

## 西荻窪駅北側 横断歩道に

# 視覚障害者の切実な願い ようやく実現 エスコートゾーン設置へ

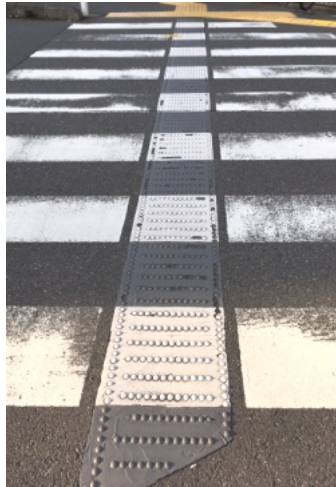
10月10日の決算特別委員会では、エスコートゾーンの増設についても質問しました。

## 警視庁が設置方針示す

エスコートゾーンとは、視覚障害者が横断歩道から外れることなく道路を横断できるように、横断歩道の中央部に点状の突起をつけたもので、杉並区内では、現在52か所の横断歩道に設置されています。

区内の視覚障害者の方々から、西荻窪駅北側のスクランブル交差点にエスコートゾーンを設置してほしいと要望が出されており、日本共産党区議団は、2014年に区に申し入れを行い、昨年の予算特別委員会でも設置促進を求めましたが、基準上難しいとの回答で、なかなか進んできませんでした。

その後の進捗状況について質問したところ、今年1月に開かれた杉並区バリアフリー推進連絡会で、警視庁から「西荻窪駅北側の交差点のエスコートゾーン設置に向けて、いくつかある問題（スクランブル交差点の新設等）を本部交通規制課、交通規制課と実査検討した、これらを解決後、エスコートゾーン設置する予定」と報告があったことが示されました。設置時期については未定ですが、ようやく実現のめどが立ったことは重要です。質疑では、荻窪駅北側教会通り入口からタウンセブンに向かう青梅街道上の横断歩道にも設置を求めました。



エスコートゾーン（環八東電支社前）

引き続き、視覚障害者の安全確保に向け、力を尽くします。

## 小中学校のトイレ洋式化 体育館へのエアコン設置促進を

決算特別委員会で、上保まさたけ区議は、第1回定例会に続き、小中学校のトイレの洋式化、学校体育館へのエアコン設置について質問しました。

## 依然として23区平均以下の洋式化率

学校トイレの洋式化は、今年度は予算を増額し、新たに3校（阿佐ヶ谷中、和田小、大宮小）洋式化を図りましたが、それでも23区平均以下の洋式化率です。

上保区議は、年度計画の目標をもって洋式化率を一気に引き上げた他区の取り組みを紹介し、区としても、年度目標をもち、早急に洋式化を進めるべきと求めました。担当課長は、保護者からも洋式化促進を求める声が強く寄せられていると述べ、「コストを伴う。年度計画を持つのはなかなか難しいが、引き上げに努めていきたい」と答えました。

## 都も支援を表明 エアコン設置は急務

学校体育館へのエアコン設置については、改築時の設置が中心で、既存のかまぼこ型式の体育館は後回しになっています。上保区議は、共産党都議団が都議会第3回定例会で、体育館へのエアコン設置の補助を求めたのに対し、小池知事が「公立小中学校の体育館への空調設備整備についても、補正予算を編成するなど、緊急的な対応を行い、区市町村を支援していく」と答弁したことを紹介。こつした取り組みも活用しながら、来年の夏までに少しでもエアコン設置を促進するよう緊急の対応を行うべきと求めました。

区長は、区長会で補助制度を求めているというだけで、積極的な姿勢を見せませんでした。